

ふる里からの
 「ふくろうだより」
 新春1月号(睦月)

『 結 び 』

“新年明けましておめでとうございます”

今年、平成29年(西暦2017年)は、丁酉(ひと とり)で、私が生まれた時の歳です。そうぞう【還暦】を迎えました。乳児の頃は覚えていませんが、けが・病気・大好きな祖母や両親との永遠の別れ・挫折・不安・悲しみ等々、数えきれないほどの艱難辛苦(かんなんしんく)に遭遇しました。しかし、今、振り返ってみますと、私にとってこの60年間は、苦難よりも幸せ多き60年間だったと感じます。それは今日の今が、多くの人の多くの笑顔に囲まれて生活をしているからです。有難い、本当に有難くて、感謝感謝です。

年末に、次男が、麻雀牌を見つけました。開けてみると、父が農業普及員の頃の物、仲間とともに楽しんでいたのでしょ。壱岐に赴任していた頃の名刺が入っていました。家族皆、じいちゃん大好きだったから、「じいちゃんも麻雀したいんだ。」と、じいちゃんを話題にしながら。年末から年始にかけて、紅白歌合戦を観ながら家族での麻雀。とうとう元旦の7時38分に初日の出を見る時間まで楽しんでしまいました。私が、「幸せ多き60年間だった」と感じたのは、幸せな家族に縁を結んで頂いたからだと思えます。

ふる里の昨年一年間の目標は、「繋がり」で、この気持ちで一年間高齢者や家族の安心生活、地域発展に向けて力を発揮して参りました。おかげで、数多くの方との“縁”を頂きました。よくよく考えてみますと、人間として生まれて以来、天や地の恩恵に預かって生かされています。人を含め、全ての物事と、もともと繋がっているようです。繋がりの中に“縁”があって出会いと別れ(離別)があるのです。せつかくの“縁”ですから、出来れば繋がっていくことが大切で、それ以上に結ばれることが大事です。喜びを感じ、嬉しさを感じ、感動を感じるのは、結ばれるからだと思うのです。私は、基本人間は誰も“幸福への道”の上で生きていると思っています。私自身が、結ぶか結ばないかで幸せかどうかが決まっていくようです。高齢者福祉の世界に入って、出会うことの喜びを知りました。生活の喜びを存分に味わっています。今年、『結び』の一年を指針に精進しようと思えます。今年も昨年以上にふる里の発展のためにご支援・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

正月、玄関に佐賀の『中原政道様』が制作された鶴と亀のついた縄を飾りました。この縄を『道の駅大和 そよかぜ館』で拝見した時、中原さんの心意気を感じました。縄を制作しながら、観る人に感動と喜び、生甲斐を願っておられると感じたのです。「何とかしてふる里の皆さんに見せたい。」誠心誠意、交渉しました。中原さんは、ふる里の精神を感じて下さったのでしょ、快く縄を贈って下さったのです。正に『結び』のスタートです。

From センター長 森 隆敏

12月行事「もちつき忘年会」
 もちつき大会



平成28年を締めくくる『もちつき忘年会』が12月26日(月)～28日(水)までの3日間行われました。石臼と杵を使った昔ながらの餅つきは、職員と利用者の方々だけでなく、手伝いに来て頂いた方も一緒に餅をつき、利用者の皆さんが楽しみにされているふる里の一年を締めくくる毎年恒例の大切な行事です。

まずは、センター長の挨拶から始まり、餅つきの歌で一気に餅つきへの雰囲気盛り上がります。餅つき本番になってからは、一生懸命に餅をつく迫力ある姿に昔を思い出しつつ「がんばって!!」や「ヨイショ!」と掛け声をかけられるなど、すごく盛り上がり賑やかになります。つきあげた餅は皆さん慣れた手つきで上手に丸められていました。餅の種類は、白餅・芋餅・よもぎ餅の3種類。おやつの中には、つきたての芋餅を皆さんおいしそうに食べられ、「出来立てで美味しかね。」と満面の笑顔で喜ばれとても好評でしたよ。



おやつ「芋餅」





餅丸めは『昔とった杵づか』。皆さん、黙々ときれいに丸められたり、「どうしたらいいの?」と尋ねて、お互いに教え合ったりと様々な姿が見られました。新年に飾る「鏡餅」は、利用者の谷川さん・廣瀬さんに作っていただきました。鏡餅作りは、すごく緊張されながらも慣れた手つきでとても上手に出来上がり、ふる里の“飾り餅”として丸々とした立派なものが出来上がりました。



昼食は、年末恒例の“鍋料理”。いつもとは違ったメニューに皆さん、ワクワクされていたようです。中央の鍋を囲み、ちょっと小さめの丼、小鉢、フルーツなど豪華な昼食となりました。ガラナジュースで利用者の代表による乾杯で忘年会の始まりです。「酔っぱらうばい!」と嬉しそうに飲まれていました。一日目の鍋料理は『塩鍋』。あっさりとした味付けでしたが、コクがあり皆さん喜ばれていました。二日目は『とんこつ醤油鍋』。豚肉がたあーくさん入っており、とても美味しくおかわりして食べられていました。三日目は『すき焼き鍋』。とても豪華な具だくさんの鍋。ちょうど良い甘さが牛肉との相性バッチリ。パクパクと皆さん箸が進まれました。どの鍋にもうどん麺やラーメン麺のシメがあり、途中で変わる食感も楽しまれ、飽きることなく皆さん完食されていました。三日間とも「すごく美味しい!」と喜ばれ、皆さんの笑顔が心まで温まる時間となりました。



職員から唄のプレゼント♪♪♪♪♪

さて、今回は職員からの皆さんへのプレゼントとして『ふる里職員聖歌隊』による合唱・コーラスを披露しました。空いた時間を利用し、一生懸命練習した曲を心を込めて歌いました。

おやつを食べた後、職員が聖歌隊の衣装で登場。“冬”の曲を中心に、歌声をプレゼントし、知っている曲では利用者の皆さんも一緒に手拍子や唄を口ずさんだりして盛り上がり、私達職員も嬉しい気持ちになりました。合唱が終わると拍手が響きわたり「良かったー！」ととても喜んで頂いた様子に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいになりました。



光るスティックでコンサート会場気分♪ 利用者さん方の素敵な笑顔



From 行事担当 明時菜穂子・富田ミチ子

在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生み出されるようにと取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。

お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。



1月の行事予定

◆ふる里1月行事『ふる里 新年会！』
4日(水)・5日(木)・6日(金)

◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 12日(木)・25日(水)

◆書道教室 ～中村朱実先生～ 9日(月)・26日(木)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 16日(月) ※1

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村寿美子先生～ 24日(火)

◆やわらぎ(針灸マッサージ師)～平島泰士先生～ … 毎週火・木・金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後 (4・11・18・25日実施予定)

◆妙宣寺保育園訪問 14日(土)

※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



明けましておめでとうございます。昨年は、皆様方には大変お世話になりました。さて今年、ふる里の玄関にとっても立派なしめ縄が飾られています。正月行事とは、年神様という新年の神様をお迎えする行事です。年神様は家々に来られ、生きる力や幸せを授けて下さると考えられています。そこで、神様を祭るのに相応しい神聖な場所であることを示すしめ縄やしめ飾りを施し、お正月が近づくと年神様を迎える準備をするそうです。しめ縄を作る時に藁を結ぶが如く、神聖な気持ちで皆様との縁を「結び」、「笑顔」を絶やすことのない生活を今年一年提供できるよう精進してまいります。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

中原政道様のしめ縄飾り

編集後記 三岳 健吾